



ルールに従わないゴミ出しの具体的な対応策等に ついて チラシ・看板・アプリの啓発、正しい分別とリサイクルの 推進をしたい(町長)

町の魅力と地域 コミュニティについて

問 ルールに従わないゴミ出しの具体的な対応策。また、リチウムイオン電池などの回収用リサイクルボックスを各行政区に設置することについて。

町長 火災の原因となるスプレー缶や使い捨てライター、リチウムイオン電池等の混入による収集車や施設の火災が後を絶ちません。正しいゴミ出しの周知徹底に向け、引き続きチラシ・看板、アプリの啓発などを行ってまいります。学校の資源回収に加え、リサイクルを推進する行政区が増え始めており、分別をす

る中でリサイクルも同時に進めたい。常時出せるような場所も必要と思っております。

問 各行政区と町長との地域意見交換会開催を提案します。

町長 コロナ禍により自粛したことから、現在は各種アンケート、パブリックコメント、町長コラム、町長へのメールなどによりご意見をいただいております。時期を見て再開を考えております。

問 地域の伝統文化芸能やおよび「(仮称)美里ふるさと祭り」の開催を提案します。

町長 熱意を持った関係者が必要です。近年、住民

の中から、そのような人材が出てきていると感じております。既存の事業との連携、融合も視野に入れながら、地域の活性化につながる取組として支援できればと考えており

ます。中学校では、探求学習としてまちづくりの提案を毎年実施しており、私からも、中学生や高校生、大学生を巻き込んで実行することを提案しております。



問 街灯が少なく、街並みが暗く、町の雰囲気も暗く感じております。町並みを明るくし、町の雰囲気も明るく変えるため、防犯対策も含めた町民と行政の連携強化や明る

町長 街灯が少なく、街並みが暗く、町の雰囲気も暗く感じております。町並みを明るくし、町の雰囲気も明るく変えるため、防犯対策も含めた町民と行政の連携強化や明る

い町への取組に向けた各種施策についてお聞きします。

町長 十分に照明が設置されていない箇所があり、空き巣や窃盗等が多いことから、令和8年度は、防犯力メラ付防犯灯を予算化しました。警察にも相談して設置場所を選定し、計画的に町内全域に設置したい。地域の児童からお年寄りの方々が地域で交流する仕組みも必要です。高齢者へは、いきいき事業や100歳体操など、全行政区に普及推進し、地域コミュニティが活性化し、明るい町になるよう取り組んでまいります。



行政・教育におけるAI活用とデータセンター導入について
国の次期モデル事業の公募があれば積極的に参画をしたい(町長)

教育分野におけるAIの活用とスタディログの活用

問 AI型教材「キュビナ」の成果と、蓄積された学習履歴（スタディログ）の活用状況を伺います。また、教員のAIデータ活用向上に向けた支援策を伺います。

教育長 キュビナ導入により個別最適な学びが進み、基礎学力の定着に寄与していると認識しております。一方、スタディログを体系的に活用するまでには、まだ十分至っていないのが現状でございます。今後はICT支援員を積極的に活用し、研修の充実を図りながら学習履歴のさらなる

活用に取り組んでまいりたいと考えております。また、教員の授業分析を支援する「スクールAI」を令和8年度予算に計上したほか、文書作成や採点業務で活用しています。

問 現在利用中の2つのAIの詳細を教えてください。また、美里町が全国に先駆けて進める「書かない窓口」の次のステップとして、音声認識AI等の窓口導入の考えを伺います。

総合政策課長 現在「コモンズAI」と自治体用AI「ヤマトくん」を活用しています。

町長

当町はガバメントクラウドの移行を終えており、次の利便性・効率化のステップに向けて先日デジタル庁を訪問し、次のモデル事業として提案をしてきたところです。町単独でのシステム開発は高額になるため、国の次期モデル事業の公募があれば積極的に参画をしたいと考えております。

問 マイクロデータセンター導入と自立型行政基盤

災害時のネットワーク遮断に備え、省電力で設置可能な「マイクロデータセンター」の導入について伺います。さらに将来、産業団

地へデータセンターを誘致するお考えについて伺います。

町長

現状はクラウドと庁内サーバーを併用し、他自治体との連携や太陽光・蓄電池でのバックアップで対応していますが、大容量電源の確保は課題です。サーバー更新の際にマイクロデータセンターも検討課題とします。誘致については、秋に送水を停止する第二浄水場跡地の豊富な地下水（日量1,300トン）を水冷式データセンターに活用する構想に可能性を感じております。





自治体が提供するオンライン診療サービスについて
住民が医療機関に出向くことなく診療を受けられる
手段として、重要な取り組みだと考えております(町長)

問

軽度の子どもの体調不良の折、急に仕事を休めない親御さんの初期対応、夜間の急な発熱（特に乳幼児や免許証を返上してしまった高齢者）、休日に体調不良となり外出が困難な場合など、本当に困ってしまいます。このような比較的軽症であるものの、診療や処方を受けたいケースにおいて、住民が自宅や保健センター等からスマホやパソコンを用いて医師の診療を受けられる仕組みです。住民の医療アクセスの向上の観点から、自治体が主体となってオンライン診療サービスを提供することについて、町の見解を伺います。

町長



本町が所属する児玉保健医療圏においては、医師不足や診療科の偏在が以前から課題となっており、医師の高齢化や入院できる医療機関が存在しないなども課題です。オンライン診療は住民が医療機関に出向くことなく診療を受けられる手段として、医療アクセスの向上や夜間休日における軽症患者の対応に一定の効果が期待され重要な取り組みだと考えております。

問

近隣医療機関やオンライン診療事業者と連携し、美里町としてオンライン診療を導入する場合、どのような方法や体制が考えられるか、また課題は何か伺います。

町長



まずは地域の医療機関との連携が重要で、オンライン診療の導入に向けた関係者の合意形成を図ることが第一歩と考えております。一方で、オンライン診療を担

問

う医師、医療機関の確保、高齢者を中心にスマホやタブレットの操作に不慣れた住民に対するサポート体制などが、現時点で考えられる課題です。実証実験やモデル事業として段階的に導入するお考えがあるのか、町の見解を伺います。例えば、野田市では休日の急な体調不良に



町長

深谷市の場合は、市役所内に看護師さんがいて、そこでオンラインのやり取りをし、多少の検査はできるようです。実証実験やモデル事業を段階的に導入することは非常に有効的なアプローチであると考えます。本庄市児玉郡医師会や近隣自治体と連携して研究を進めてまいります。





自衛隊側が指定した住民基本台帳を閲覧して
もらっているのか伺います
指定いただいた範囲を抽出して、
閲覧していただいている状況です（住民保険課長）

問 若者が住み続けたい町へ
若者が住み続けたい町
を指し、遺跡の森緑
台公園にスケートボード及び
インラインローラー等のアー
バンスポーツ施設を造ること
はできないか伺います。

教育長 2021年の東京オリ
ンピックでアーバンス
ポーツが正式種目として採用
され、特に若者を中心に広く
普及をしており、若者文化と
アーバンスポーツとの親和性
は非常に高いものと感じてお
ります。現在、美里スーパー
タウンプロジェクトや新統合
小学校の建設など大規模事業
が進んでおり、多くの財政負
担が見込まれます。新たな

アーバンスポーツ施設の整
備につきましては、優先順
位を考慮し慎重に検討して
いきます。
問 平和を意識した取組に
ついて
平成9年3月に非
核平和都市宣言が
可決された美里町ですが、
この宣言にふさわしい平和
を意識した取組を行ってい
るのか伺います。

町長 長崎で被爆したク
スノキを親木とす
る被爆クスノキ二世の苗木
を町内の公園に植樹をいた
しました。この被爆クスノ
キは、戦争の悲惨さとそこ
から力強く再生する生命の

長崎で被爆したク
スノキを親木とす
る被爆クスノキ二世の苗木
を町内の公園に植樹をいた
しました。この被爆クスノ
キは、戦争の悲惨さとそこ
から力強く再生する生命の



貴さ、そして平和への願
いを象徴するものです。

**自衛隊への住民基本台
帳の提供について**
情報提供は、閲覧
で対応している状
況となっているのか伺
います。

問 情報提供は、閲覧
で対応している状
況となっているのか伺
います。

町長 住民基本台帳に基
づく閲覧によりお
願いをしているところ
です。

問 住民基本台帳を閲
覧させるにあたっ
て、自衛隊側からご希望
の生年月日の範囲の人を
指定した住民基本台帳を
閲覧してもらっているの
か伺います。

住民基本台帳を閲
覧させるにあたっ
て、自衛隊側からご希望
の生年月日の範囲の人を
指定した住民基本台帳を
閲覧してもらっているの
か伺います。

**住民保
険課長** 閲覧は個人情報取扱
いにとり、適正だ
と認められたものについては
閲覧を許可しております。自
衛隊に限らず何年生まれから
何年生まれの方、ほかの閲覧
もご指定をいただいで申請を
いただきますので、抽出をい
たしまして、こちらで名簿等
作成したものをお渡しして閲
覧をいただいでいる状況
です。

ですので、1万1000人
の名簿を全部見て、そこから
必要なところを抜き取るとい
うような作業ではなく、ご指
定いただいた部分だけをお渡
しできるようにして対応する
形です。



国の支援を実感できるものへ

町が補助するといふことは当然考えるべき(町長)

国による学校給食実質無償化

問 国の支援は、児童1人当たり月額5,200円です。8年度町の予算は、東児玉小学校、松久小学校で月額6,700円、大沢小学校7,100円、美里中学校7,500円となります。他の自治体では、差額分について保護者負担を求めるところもあるようですが、町では軽減策を継続して充当し、高めてきた学校給食の質については守っていただきたい。

教育長

国からの支援額との間に生じる差額につきましましては、引き続き町が全額負担をし、小中学校児童生徒の

給食無償化を継続します。給食につきましては、より豊かな



な食材の活用や献立の充実を図り、質の向上に取り組んでまいります。

修学旅行費や学用品等の負担軽減事業の創設

問 今後予定される町の補正予算において、給食無償化で生ずる国支援充当額は、学校教育の中で保護者負担軽減事業費として運用することで国の支援を実感できるものと信じます。

教育長

年間約2,400万円の歳入が見込まれます。この財源の活用につきまして、学校教育の充実にとどまらず、子育て世帯が安心して暮らせるまちづくりの有効活用していくべきだと考えております。

町長

実は当初予算を組む段階で、0歳から2歳の

保育料の無償化というのが近隣で大分始まってきたので、そろそろ我が町もやらざるを得ないだろうというふうに思っています。令和8年度の予算に関しては、新たなものというのは極力避けて予算組みをしました。

問

修学旅行費の保護者負担について、東児玉小

学校2万1,321円、松久小学校2万7,717円、大沢小学校3万5,929円、中学校では7万150円というところで、格差が出ています。

町長

学校によって金額が違ふことというのもまた困る話ですから、どこかで修正または町が補助するということ

は当然考えるべき話なのかなというふうに思います。





議会との温度差を感じるが町長の見解は
また、進捗状況は
具体的な開発計画の提示が必要。町が総力を挙げて
取り組んでいるので温度差はない(町長)

美里スーパータウンプロジェクトについて

問 埼玉版スーパープロジェクトは県内全63市町の団体が参加し、現在地域まちづくり計画策定済みが42団体、未策定が21団体です。

令和8年「広報みさと」の1月号では、櫻沢保議長の挨拶の中で新たなまちづくりを指してと題して美里スーパータウンプロジェクトについて、生活複合系ゾーンにおける基本計画を早急につくり、住民と情報を共有し多くの方の参加を図り、魅力あるエリアの開発に取り組みむことを政策提言しているとなりました。しかし、町長の新しい年に向け

この挨拶には一言もなく議会との温度差が感じられますが、町長の見解や進捗状況をお聞かせします。

町長 政策提言をはじめ、議員の皆様にはご理解、ご支援に感謝します。私の思いも議員の皆様と同じく温度差はないと感じています。現在の状況ですが、昨年11月から12月にかけて松久駅から役場までの間の約4ヘクタール、地権者21名に対しアンケート調査を行いました。具体的に進めていくに当たり、対象としている区域の大部分が農用地区であることから、除外と農地転用の許可が必要になります。除外及び農地転用の調

整には、具体的な開発計画の提示と立地する施設の必要性の整理が求められ、進出する予定事業者の具体的な計画が必要になります。町の将来を見据えた町を挙げて取り組んでいるプロジェクトなので、ご理解とお力添えをいただきたい。

3、町長として5期目の後半に入りますが、将来の美里町を背負える職員を育てているのか

町長 職員の早期退職が増加している現象は美里町に限ったことではない。職員数については、現在正規職員数116人、会計年度採用職員48人が在籍し、病気休暇者2名、病気退職者3名となっています。

問 ここ数年、役場職員の退職等が目立ちますが、現在の職員数や病気休暇等も含めてお聞かせします。

1、現在美里町には障害者雇用の方はいるのか
2、職員の採用時に美里町在住の条件など出しているのか

障害者雇用については現在3名の方の雇用があり、法的雇用数は充足しています。今年度の応募者201人のうち、美里町在住者は3名でした。美里町の将来を担う多様な人材を全国から幅広く確保



するため特定の居住条件は設けていません。職員の育成については引き続き指導に努めてまいります。